

事業者名:財団法人鳥取開発公社

展示住宅等の建設地住所:鳥取県鳥取市鹿野町今市131-44、151-4

事業者連絡先:0857-22-4742

事業の種類: ①展示住宅、②生活体験施設

総事業費:2,317万円(うち補助金2,097万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、②新築(長寿命化普及タイプ) ③改修



<展示住宅・生活体験施設の平面図>



【1階】



<展示住宅等の仕様等>

①床面積:(1階) 126.72㎡

②外観: 木造平屋建て、和瓦葺き、  
外壁珪藻土塗り、一部杉板張り

③構造(部位毎の建材、寸法等):  
柱 : 杉 120×120  
梁、桁 : 杉 120×240、120×270、  
120×330

④断熱性能:住宅性能評価基準-温熱等級  
「4」-温熱等級「4」

屋根: ポリスチレンフォーム3種 厚30mm  
外壁: 住宅用グラスウール 厚100mm  
床下: ポリスチレンフォーム3種 厚30mm

⑤展示期間: 平成22年4月~平成29年3月



<展示住宅・生活体験施設の特徴>

①地域の人々との関わりを重視し、地催事や趣味を共に楽しんだり、地域の子どもに開放したりする、台所、居間、浴室に続く土間が設けてある。

②光、風、緑、土、温泉を室内に採りこみ、四季の変化を心地よく感じられる

③落ち着いたある「和美」を意識した外観デザインで街並みとの調和し、また平屋建てで屋根勾配を前後にとることで、景観、環境に配慮してある。

④無垢の杉材、和紙などの再生可能な地産の自然素材を使用している。

<平成22年度の成果>

①生活体験者数(平成22年4月~平成23年3月): 1名

②生活体験者の主な声:

- 木の香りと広い空間が、暮らしていて気持ちよかった。都会から友人を招いたり、のんびり過ごすことが出来た。
- 自宅で温泉を満喫できたことが大変良かった。

事業者名:財団法人鳥取開発公社

展示住宅等の建設地住所:鳥取県鳥取市鹿野町今市151-6

事業者連絡先:0857-22-4742

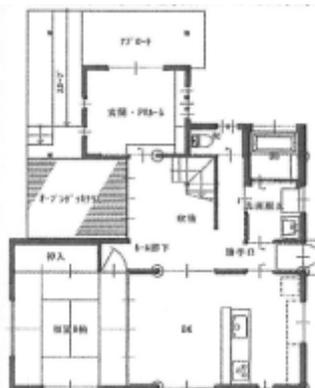
事業の種類: ①展示住宅、 ②生活体験施設

総事業費:2,317万円(うち補助金2,097万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、 ②新築(長寿命化普及タイプ)、 ③改修



<展示住宅・生活体験施設の平面図>



1階平面図



2階平面図



<展示住宅等の仕様等>

①床面積:(1階) 80.04㎡、(2階)38.80㎡

②外観:

屋根:日本瓦葺  
 外壁:杉板堅板貼り・保護着色塗装  
 漆喰塗り

③構造(部位毎の建材、寸法等):

ベタ基礎  
 土台:ヒバ135×120  
 柱:桧120口 135口 150口  
 梁:杉150H~390H

④断熱性能:住宅性能評価基準-温熱等級「4」

屋根:ポリスチレンフォーム2種 t=25  
 天井:グラスウール 10k t=50  
 壁:グラスウール 10K t=50

⑤展示期間:平成22年4月~平成29年3月



<展示住宅・生活体験施設の特徴>

①外観:日本建築の美ともいえる『和』のたたずまい。

②内装:無垢材をふんだんに使用した部屋で暖かみのある雰囲気演出。

③暮らし:あたたかな手触りと木材を贅沢に使用した木香のある暮らしがスローライフを演出。

<平成22年度の成果>

①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月~平成23年3月):1名

②来場者又は生活体験者の主な声:

○東京では慌しい環境で生活していたが、ここにいるとのんびり自宅で温泉に浸かる等時間がゆっくりと感ずることができた。

事業者名:財団法人鳥取開発公社

展示住宅等の建設地住所:鳥取市鹿野町末用字鬼入道1045、2216-4、2216-7

事業者連絡先:0857-22-4742

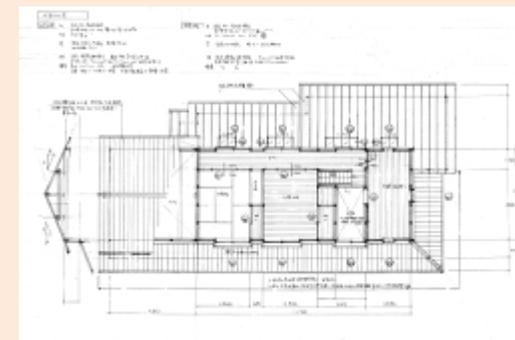
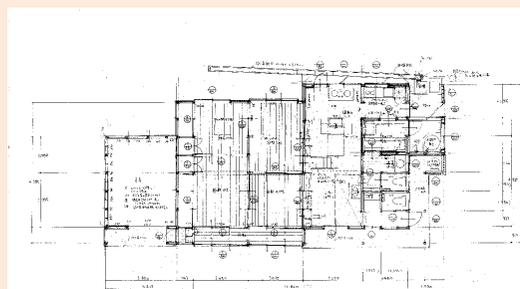
事業の種類: ①展示住宅、 ②生活体験施設

総事業費:2,317万円(うち補助金2,097万円)

基本性能等の基準: ①新築(長期優良タイプ)、 ②新築(長寿命化普及タイプ)、 ③改修



<展示住宅・生活体験施設の平面図>



<展示住宅等の仕様等>

①床面積:(1階)128.32㎡、(2階)58.41㎡

②外観:  
屋根:日本瓦葺  
外壁:杉板貼り 及び 漆喰塗り

③構造(部位毎の建材、寸法等):  
注入土台 桧 1等 120×120  
柱 既存柱利用 ケヤキ・栗 160×160程度  
一部新設柱 杉1等 120×120  
梁 胴差し 根太 母屋 垂木等は既存利用  
一部腐食部取替

④断熱性能:  
壁・既存小舞土塗真壁裏返し塗り  
天井・新設グラスウール断熱材 100t

⑤展示期間:平成22年4月～平成29年3月



<展示住宅・生活体験施設の特徴>

- ①廃屋であった古民家を地域の生活体験施設として再生  
囲炉裏・釜戸・薪ストーブ等の設置と共に土間のある田舎暮らしとしての魅力ある施設。
- ②建物の長寿命化や安全安心を確保する為現代技術や工法にてRC基礎設置、耐震補強等を行っている。
- ③地域の村落に使われなくなった古民家を活用し、県内外から気兼ねなく宿泊・体験しながら地域の人々との交流も行われる施設。

<平成22年度の成果>

- ①来場者数又は生活体験者数(平成22年4月～平成23年3月):223名
- ②来場者又は生活体験者の主な声:
  - 久しぶりにのんびりと命の洗濯ができた様だった。また機会があればお邪魔したい。
  - 今回、初めて田舎暮らし体験を色々させて頂き、充実していた。
  - 久しぶりにかまどでご飯を炊き、おいしく頂いた。